

耐力壁や水平構面をユーザー定義で追加する方法


文書管理番号：1275-01

Q. 質問

壁量チェックで、耐力壁面材のリストに利用したいものがない。

壁量チェックで、使用する壁材質や床材質を追加して利用したい。

A. 回答

A's（エース）の  (壁量チェック) には、昭和 56 年建設省告示第 1100 号等の規定に基づく種類・倍率の耐力壁面材や、平成 13 年国交省告示第 1347 号等の規定に基づく種類・倍率の水平構面をあらかじめ登録しています。

登録している耐力壁や水平構面以外で、大臣認定の製品やそれに沿った倍率の壁材質や床材質を利用したい場合は、編集機能で追加登録して利用することができます。

面材編集

☒ システム定義 ☐ ユーザー定義

床構面 屋根構面

材質名	床倍率
構造用合板12mm以上 根太@340以下 落し込み N50@150以下	2.00
構造用合板12mm以上 根太@340以下 半欠ぎ N50@150以下	1.60
構造用合板12mm以上 根太@340以下 転ばし N50@150以下	1.00
構造用合板12mm以上 根太@500以下 落し込み N50@150以下	1.40
構造用合板12mm以上 根太@500以下 半欠ぎ N50@150以下	1.12
構造用合板12mm以上 根太@500以下 転ばし N50@150以下	0.70
構造用合板24mm以上 根太なし直張り4周釘打ち N75@150以下	3.00
構造用合板24mm以上 根太なし短辺のみ4周釘打ち N75@150以下	1.20
幅180杉板12mm以上 根太@340以下 落し込み N50@150以下	0.30

使用する(U) 使用しない(N)

↑ ↓

面材編集

☒ システム定義 ☐ ユーザー定義

外部面材 内部面材 筋違

名称	壁倍率(壁量計算用)	壁倍率(N値計算用)	木ずり	雑壁	備考
土塗壁	0.50	0.50	—	—	
木ずり打(片面)	0.50	0.50	○	—	
(大壁)構造用合板(屋外壁等耐候処置無)	2.50	2.50	—	—	7.5mm以上 JAS H15告示第233号 N50@150以下
(大壁)構造用合板(屋外壁等耐候処置有)	2.50	2.50	—	—	5mm以上 JAS H15告示第233号 N50@150以下
(大壁)構造用合板(その他)	2.50	2.50	—	—	5mm以上 JAS H15告示第233号 N50@150以下
(大壁)構造用パネル2.5倍	2.50	2.50	—	—	JAS S62告示第360号 N50@150以下
(大壁)パネルボード	2.50	2.50	—	—	12mm以上 JIS A5908-1994 N50@150以下
(大壁)パネルボード	2.00	2.00	—	—	5mm以上 JIS A5907-1977 N50@150以下
(大壁)断熱パネルボード	2.00	2.00	—	—	12mm以上 JIS A5417-1985 N50@150以下
(大壁)断熱パネルボード	2.00	2.00	—	—	12mm以上 JIS A6701-1983 GNF40またはGNC40@150以下
(大壁)断熱パネルボード	1.50	1.50	—	—	8mm以上 JIS A5414-1988 GNF40またはGNC40@150以下
(大壁)断熱パネルボード	1.00	1.00	—	—	12mm以上 JIS A5905-1979 SN40外周部@100以下、その他@200以下
(大壁)断熱パネルボード	1.00	1.00	—	—	JIS A5524-1977 N38@150以下
(大壁)構造用パネルボード4.3倍	4.30	4.30	—	—	JIS A5908-2015 N50外周@75以下、その他@150以下
(大壁)構造用MDF4.3倍	4.30	4.30	—	—	JIS A5905-2014 N50外周@75以下、その他@150以下
(大壁)構造用合板3.7倍	3.70	3.70	—	—	9mm以上 JAS H15告示第233号 CN50外周@75以下、その他@150以下
(大壁)構造用パネル3.7倍	3.70	3.70	—	—	9mm以上 JAS S62告示第360号 N50外周@75以下、その他@150以下
(大壁)構造用パネル2.5倍	2.50	2.50	—	—	JIS A5908-2015 N50@150以下
(大壁)構造用MDF2.5倍	2.50	2.50	—	—	JIS A5905-2014 N50@150以下
(大壁)断熱パネル構造用パネルボード4.3倍	4.30	4.30	—	—	JIS A5908-2015 N50外周@75以下、その他@150以下
(大壁)断熱パネル構造用MDF4.3倍	4.30	4.30	—	—	JIS A5905-2014 N50外周@75以下、その他@150以下


使用する(U) 使用しない(N)

↑ ↓

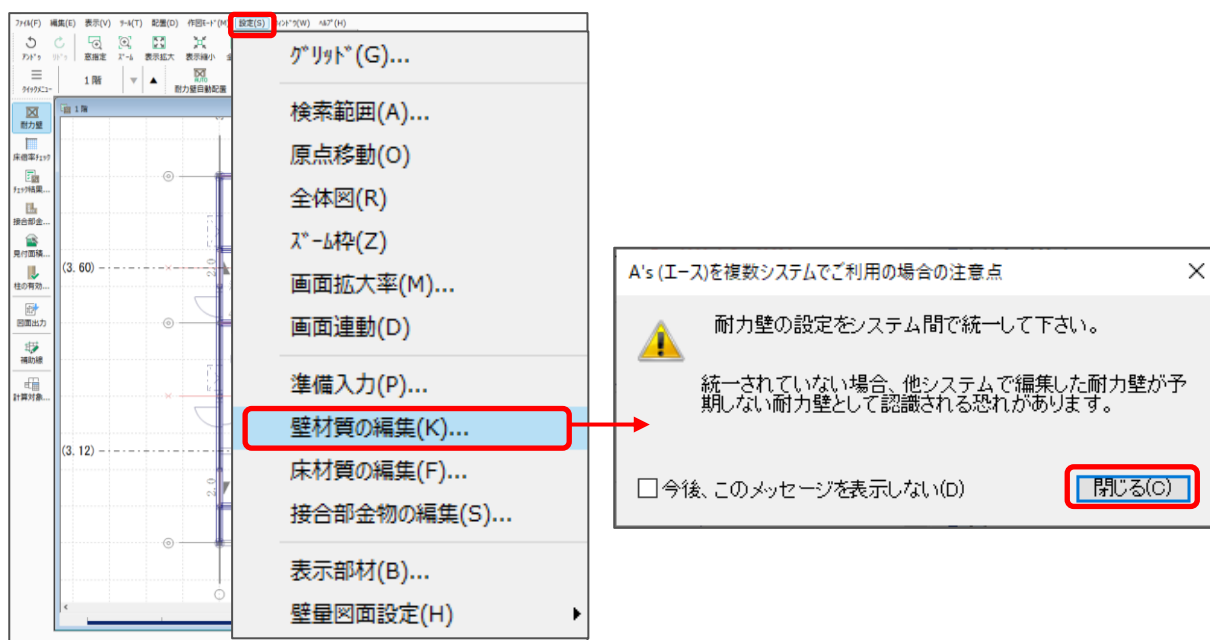
OK キャンセル ヘルプ(H)

操作手順

ここでは、外部面材を追加する方法を説明します。

- ①  (壁量チェック) のツールバーから「設定」⇒「壁材質の編集」をクリック

* 「A's (エース) を複数システムでご利用の場合の注意点」の画面が表示された場合は、内容を確認後「閉じる」をクリックしてください。




* 面材編集の画面が表示されます。

【注意】

壁材質の編集で追加したユーザー定義の面材情報は、A's のシステムごとに記憶されます。

ユーザー定義の面材を配置した物件データを別のシステムで利用する場合は、それぞれのシステム間でユーザー定義の内容を共通化する必要があります。

ユーザー定義の内容を共通化するには、 (マスターインポートエクスポートツール) を利用します。詳しい操作方法は、こちらをご覧ください。

[\[1093\] マスターインポートエクスポートツールの利用方法](#)

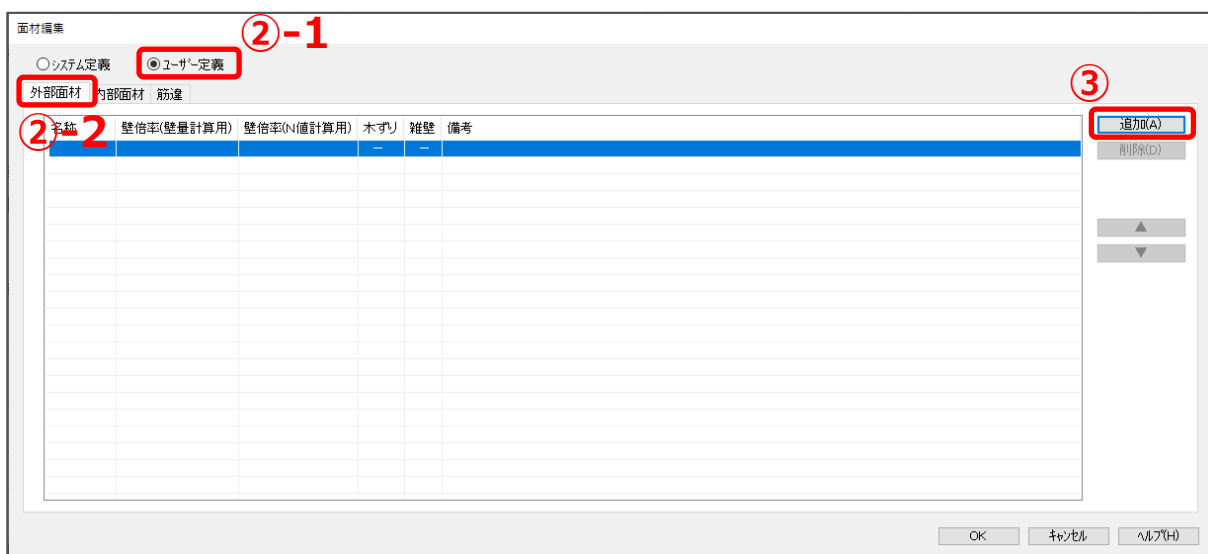
マスターインポートエクスポートツールで移行できる内容については、こちらをご覧ください。

[\[1144\] マスターインポートエクスポートツールの内容](#)

② 「ユーザー定義」に切り替え、「外部面材」タブをクリック

③ 「追加」をクリック

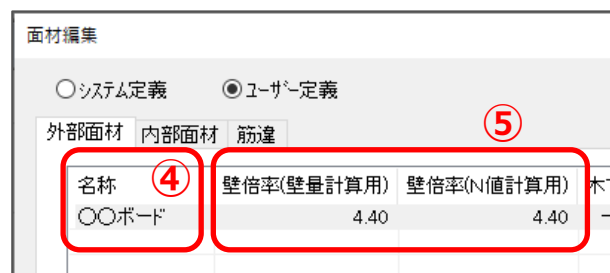
* 行が青く反転します。



④ 「名称」欄をクリックし、追加する外部面材の名称を入力

⑤ 「壁倍率」に倍率を入力

* 「壁量計算用」「N 値計算用」両方とも数字を入力してください。

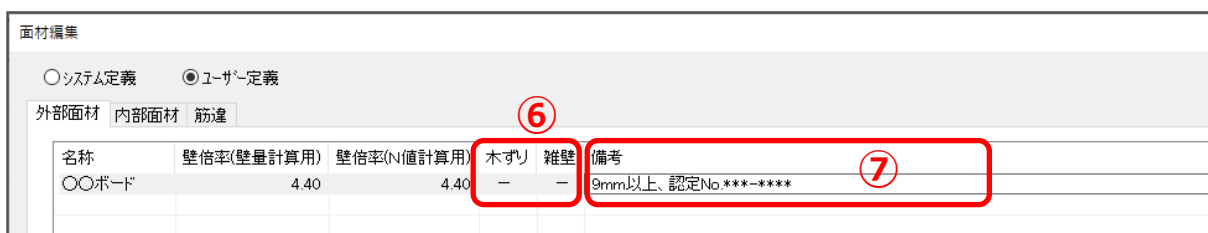


【参考】壁量計算用とN 値計算用

壁倍率の「壁量計算用」と「N 値計算用」は、大臣認定されている制振装置を利用する目的において、接合部検討用壁倍率が別途定義されている壁材質を登録する際にご利用いただけます。制振装置を利用しない場合は、「壁量計算用」と「N 値計算用」は同じ数値の倍率を入力してください。

⑥ 「木ずり」や「雑壁」の設定を確認

* ここでは、「木ずり」「雑壁」とともに「-」のままとします。



【参考】木ずりと雑壁

面材編集にある「木ずり」「雑壁」は、準耐力壁として利用する場合に設定します。

準耐力壁で、下地に木ずりを含む場合は、木ずりと雑壁の両方に「○」を付けます。

準耐力壁で、下地に木ずりを含まない場合は、雑壁のみ「○」を付けます。

木ずりの利用の有無によって準耐力壁の壁倍率は、以下の計算式に沿って自動計算します。

$$\text{○木ずりの準耐力壁等の壁倍率} = 0.5 \times \frac{\text{木ずりの高さの合計}}{\text{横架材間内法寸法}}$$

$$\text{○木ずり以外の準耐力壁等の壁倍率} = \text{材料の基準倍率} \times 0.6 \times \frac{\text{面材の高さの合計}}{\text{横架材間内法寸法}}$$

⑦ 「備考」に記載事項を入力

- * 自由に入力できます。記載事項がなければ、空欄でもかまいません。

⑧ 「OK」をクリック

- * 外部面材として追加されます。
- * 追加後、倍率や文字の変更はできません。変更する場合は再度登録し直しが必要です。

- * (耐力壁手動配置)などで、追加した面材を選択して耐力壁として設定することができます。